

【FAX番号】

宛先【福岡県立社会教育総合センター 研修・情報室】092-947-8029

中国・四国・九州地区 生涯教育実践研究交流会第39回大会 【参加申込書】

* 手話対応等が必要な方は備考欄に御記入ください。

※提出期限:令和3年5月6日(木)必着

* 個人情報は大大会に関する以外目的では使用しません。

* 欄が足りない場合は、申込はコピーして御使用ください。

都道府県名	所属名	職名	氏名(代表者)											
住所 〒 <small>* 今後、継続して案内を御希望の方は自宅住所をお書きください。(名簿への掲載はしません。)</small>														
連絡先(職場 ・ 自宅 ・ 携帯) TEL(- -)														
次回、郵送での案内を御希望しますか?(○をつけてください。) はい いいえ														
希望する事項に○を御記入ください				14日(金)		15日(土)大会1日目					16日(日)大会2日目			金額
				300円	2,000円(1,000円)	500円	700円	1,500円	300円	1,000円(500円)	500円	700円		
記入例	氏名(ふりがな) しゃきょう はなこ 社教 花子	性別	年齢	宿泊	大会参加	朝食	昼食	交流会	宿泊	大会参加	朝食	昼食	個人合計	
		女	58	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4,800	
1	氏名(ふりがな)	性別	年齢	宿泊	大会参加	朝食	昼食	交流会	宿泊	大会参加	朝食	昼食	個人合計	
2	氏名(ふりがな)	性別	年齢	宿泊	大会参加	朝食	昼食	交流会	宿泊	大会参加	朝食	昼食	個人合計	
3	氏名(ふりがな)	性別	年齢	宿泊	大会参加	朝食	昼食	交流会	宿泊	大会参加	朝食	昼食	個人合計	
4	氏名(ふりがな)	性別	年齢	宿泊	大会参加	朝食	昼食	交流会	宿泊	大会参加	朝食	昼食	個人合計	
5	氏名(ふりがな)	性別	年齢	宿泊	大会参加	朝食	昼食	交流会	宿泊	大会参加	朝食	昼食	個人合計	
※備考欄														

*1...宿泊代は、1泊、2泊関係なく一律300円です。
 *2...大会参加費は、15日(土)・16日(日)両日参加、15日(土)のみの参加の方 一般:2,000円(学生:1,000円)です。16日(日)のみ参加の方 1,000円(学生500円)です。
 *3...5月14日(金)から当センターに宿泊できます。(但し、14日の夕食の提供はありません。)

【申込方法】

①FAX ②郵送 ③電子申請(ふくおか社会教育ネットワーク)

参加申込書に必要事項を御記入いただき、上記のいずれかの方法でお申込みください。

※参加費、食事代等は、大会当日に受付にてお支払いください。(※当日のキャンセルや変更はできません。)

■留意事項

- ① 食事のキャンセルは、大会1週間前(5/8)までです。キャンセルの連絡がない場合、お申込みいただいた食費(大会交流会も含む)をお支払いいただきますので御注意ください。
- ② タオル・歯ブラシ等、身の回りの品はお持ちください。石けん・シャンプーは用意しております。
- ③ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、以下のことをお願いします。
 - ◆当日の朝の検温 ◆マスクの着用
 - ◆座席の間隔をとる ◆手指の消毒
 なお、当日37.5度以上の発熱のある方・体調のすぐれない方は、他の参加者への感染の恐れがあるため、参加を控えていただくようお願いします。

問合せ先

福岡県立社会教育総合センター 研修・情報室
 〒811-2402 福岡県糟屋郡篠栗町大字金出3350-2
 TEL 092-947-3512 FAX 092-947-8029

☆厚生労働省

新型コロナウイルス 接触確認アプリ「COCOA」

自分をまもり、大切な人をまもり、地域と社会をまもるために、接触確認アプリをインストールしましょう。



生涯教育・生涯学習の実践が集う

中国・四国・九州地区

生涯教育 第39回 実践研究交流会

期 日

令和3年5月15日(土)・16日(日)

会 場

福岡県立社会教育総合センター

(福岡県糟屋郡篠栗町大字金出3350-2)

TEL/092-947-3512 FAX/092-947-8029

日程・プログラム

1日目 5.15 SAT	12:00	12:15	13:00	13:30	16:10		
	実行委員会	受付	開会式	実践発表			
2日目 5.16 SUN	16:30	17:00	18:00	20:00	8:30 9:00	11:30	12:00
	移動休憩	特別報告 「気を抜かず、「前期」案せず、がんばれば、健康寿命は「後期」までもつ 一後期高齢者の健康原則」 報告者 三浦 清一郎 氏 (月刊生涯学習通信「風の便り」編集長)	移動休憩	第39回 大会交流会 フリータイム	受付	特別企画 「大学・企業」と繋がる社会教育の「未来の必要」 ～地域づくり・人づくりへの役割～ 【第1部】「生涯教育と企業の連携はいかにして生まれ、社会教育の未来をどう変えるか?」～宮崎モデルの可能性～ 登壇者 黒木 政信 氏 (みやざき社会教育 生涯学習研究会ひなねネットワーク会長 宮崎公立大学 地域研究センター 事務局長) 枝元 倫助 氏 (ホテルマリックス会長) 聞き手 三浦 清一郎 (月刊生涯学習通信「風の便り」編集長) 大島 まな (九州女子大学教授) 【第2部】「大学と自治体が始めた「地域連携協定」は、両者に何を生み、どう変えるのか?」 登壇者 門司 晋 氏 (福岡県岡垣町長) 山田 明 氏 (九州共立大学教授) 聞き手 森本 精造 (福岡県飯塚市青少年教育施設 サンビレッジ西顧問) 古市 勝也 (九州共立大学名誉教授)	総括 閉会式

主 催 福岡県教育委員会 日本生涯教育学会九州支部
 主 管 中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会第39回大会実行委員会
 福岡県立社会教育総合センター



QRコード
こちらから
電子申請が
できます

テーマ 『大学・企業』と繋がる社会教育の「未来の必要」 ～コロナ禍を乗り越え地域の未来を拓く～

春が来て、花々が咲き誇る頃になると、我々社会教育の仲間は「実践の友に会える!」と「刮目して」篠栗の「交流会」に集います。世界中でコロナ感染が拡大し、延期(令和2年)になっていた「第39回中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会」を、この度(令和3年)開催することになりました。各県実行委員・関係各位の皆様から感謝申し上げます。

今回も各県実行委員のお世話により24の実践事例を推薦いただきました。各県実行委員、大会事務局・関係の皆様方に重ねて感謝申し上げます。

さて、地域プラブラ取材をしていますと、今地域は「人口減少、高齢化、グローバル化、貧困、つながりの希薄化、地方財政の悪化」等々、ますます多様化・複雑化する課題に直面しています。

一方、青年団・婦人会の復活(高知県)、NPOの活躍(北九州)、企業との連携(宮崎)、大学と地域との協働等の実践事例が多く見られるようになりました。さらに、地域の「祭り」や「イベント」等も地域ぐるみの取組が活発になっています。ところがこのコロナ禍は地域活動等に支障をもたらし、多くの課題も発生しています。この課題解決・工夫等が喫緊に求められます。

今後、これらの課題を解決するためには、地域活動の中核となっている多様な分野の人々との連携・協働が必要不可欠です。すなわち、地域総ぐるみで総合的に「組み合う」(連携・協力・協働する)ことが必要なのです。その、連携・協働の手法を相互に発表し合う場がこの交流会であると確信します。刮目して素晴らしい事例に出会ってください。コロナ対策に留意しながら、担当者と相互交流・相互向上致しましょう。

本会をご支援・ご指導くださいます福岡県教育委員会、福岡県立社会教育総合センターに心より厚く感謝申し上げます。

中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会 代表世話人 古市 勝也

5/15
(土)

開会式 13:00～13:30 2F講堂

実践発表 13:30～16:10

2階 第1会場
講堂

- おごおりウィークエンドアドベンチャー 高橋 則彦(山口県山口市)
- 「ロケット」と共に～宇宙にいちばん近いまち南種子町の取組～ 小川 和輝(鹿児島県南種子町)
- 「学校の学び」と「地域の実践」の往還
～益田をしあわせなまちにしようプロジェクトによる「社会に開かれた教育課程」の実践～ 谷上 元織・三浦 裕美(島根県益田市)
- 地域学校協働本部とコミュニティ・スクールの協働の仕組みづくり
～中津市今津校区学校の協働の仕組みから～ 山本 健吾(大分県中津市)

2階 第2会場
自由研修室

- いい出会いは、いい人生をつくる ～「中高生×大学生×地域の大人」の交流プログラム～ 大森 哉絵(岡山県岡山市)
- 小学校教員発 ～悩めるお母さんを元気にする子育て支援～ 中村 隆(福岡県粕屋町)
- 親も子も照らす「照子親(てらこや)」活動 前田 亜樹(山口県下関市)
- 「中高生と社会人の対話による学びを創出する『三四郎の学校』の挑戦!」 日賀 優一(福岡県みやこ町)

2階 第3会場
研修室

- 竹矢のわけもんやらこい! ～若い人たちの力で住み続けたいまちづくりを～ 山崎 祥子・角田 千年(島根県松江市八幡町)
- 復活!南部町新☆青年団のおもしろ活動 ～自分たちのみらいは自分たちの手で～ 亀尾 勇志・大下 真史(鳥取県南部町)
- みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり
～演劇未経験者が劇団を結成し、地域福祉活動の担い手増加に挑む～ 梶 初美(福岡県北九州市)
- 自然と歴史の学びの郷づくり ～地域づくりの進化～ 柴田 俊彦(山口県下関市)

ふるさと自慢ポスター展

あなたのまちの「村おこし」や「まちづくり」また、「ひとづくり」などのイベントポスターやチラシで、あなたの故郷自慢を広く全国にアピールしませんか?

- 参加資格 誰でも出品できます。
- 出品数 1イベント1点
- 提出方法 大会当日受付にお申し出ください。
- 留意事項 ポスター・チラシに限ります。展示品は返却できませんので予め御了承ください。

4階 第4会場
視聴覚室

- スポーツによる地方創生 ～つの職育プロジェクトの挑戦～ 石原 英明・小松原 駿(宮崎県都農町)
- 熊本豪雨(令和2年7月)における災害支援の連携手法
～NPOと社会教育行政等との連携による被災地の子ども支援～ 井下 友梨花・花田 誠(熊本県)
- 「ぼくのまちわたしのまちプロジェクト」 松本 雅知・福松 拓誠(広島県廿日市市)
- コロナ禍における児童センターの防災への取組 宮平 玲那・當真 美寿々(沖縄県浦添市)

4階 第5会場
大研修室

- 誰もが安心して平等に住み続けられるまちづくりを目指して
～住宅の確保が困難な人に住宅を!「さが空き家対策ネットワーク」の奮闘～ 塚原 功(佐賀県)
- 太鼓を仲立ちに人づくり!まちづくり! 田中 繁幸(愛媛県宇和島市津島町)
- 歴史遺産を活かした地域づくり ～天正遣欧使節出生の地から～ 岸本 徹也(長崎県西海市)
- 新しい生活様式に対応した子どもたちの体験活動の創出事例と、
「親になる前の青年層」や「就職氷河期世代」の学びの必要性 大神 健治・佐々木 悠史(福岡県古賀市)

3階 第5研修室
第6会場

- 防災・減災に向けた私たちの取組 星野 洋子(福岡県朝倉市)
- 「ながさきファミリープログラムで学ぶ楽しい子育て」 永田 しのぶ(長崎県)
- 【知と縁の共有型四次元ポケット】まちの大学いまり いわたて ただすけ(佐賀県伊万里市)
- 熊本地震復興支援活動とSDGs(持続可能な開発目標)の推進 神田 みゆき(熊本県熊本市近郊)

特別報告

16:30～17:00 2F講堂

「気を抜かず、「前期」楽しめず、がんばれば、健康寿命は「後期」までもつー後期高齢者の健康原則ー」

報告者 三浦 清一郎

第39回大会交流会

18:00～20:00 2F体育館

事例の発表者の方々や参加者の皆さん、各県の実行委員会の皆さんが一堂に会して、交流を深める場を設けています。なお、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止策を講じて、以下の内容で規模縮小し実施します。御参加をお待ちしています。

食事(弁当提供)、県の紹介、歓談(名刺交換)、オークション

5/16
(日)

特別企画『大学・企業』と繋がる社会教育の「未来の必要」～地域づくり・人づくりへの役割～ 9:00～11:30 2F講堂

下記登壇者等の役職名は、2021年3月現在のものです。

第1部 「生涯教育と企業の連携はいかにして生まれ、社会教育の未来をどう変えるか?～宮崎モデルの可能性～」

登壇者: 黒木 政信 氏 (みやざき社会教育・生涯学習研究会「ひなたネットワーク」会長・宮崎公立大学 地域研究センター事務局長)
枝元 倫助 氏 (ホテルマリックス会長)
聞き手: 三浦 清一郎 (月刊生涯学習通信「風の便り」編集長)
大島 まな (九州女子大学教授)

第2部 「大学と自治体が始めた『地域連携協定』は、両者に何を生み、どう変えるのか?」

登壇者: 門司 晋 氏 (福岡県岡垣町長)
山田 明 氏 (九州共立大学教授)
聞き手: 森本 精造 (福岡県飯塚市青少年教育施設 サンビレッジ茜顧問)
古市 勝也 (九州共立大学名誉教授)

総括開会式

11:30～12:00 2F講堂

「おらがまちの名物自慢」

毎回、参加者がお国自慢の品々を持ち寄る「おらがまちの名物自慢」。今年は、新型コロナウイルス感染症対策のため、「オークション」での競売のみの受

付とします。大変申し訳ございませんが御理解の程、よろしくお願いたします。御持参くださる方は、大会当日、専用受付にて、所属・氏名・特産品の品名・セールスポイント・希望金額を御記入いただき、お預けください。

